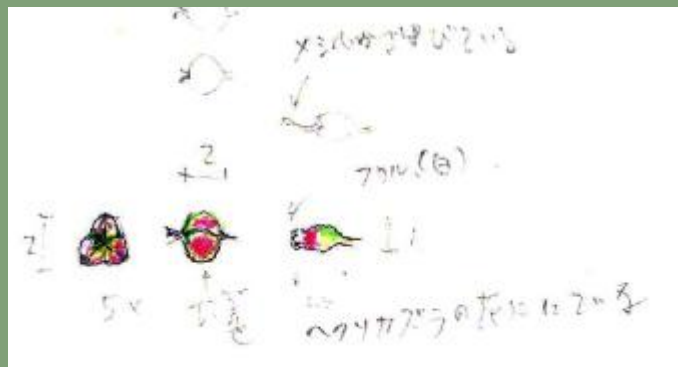
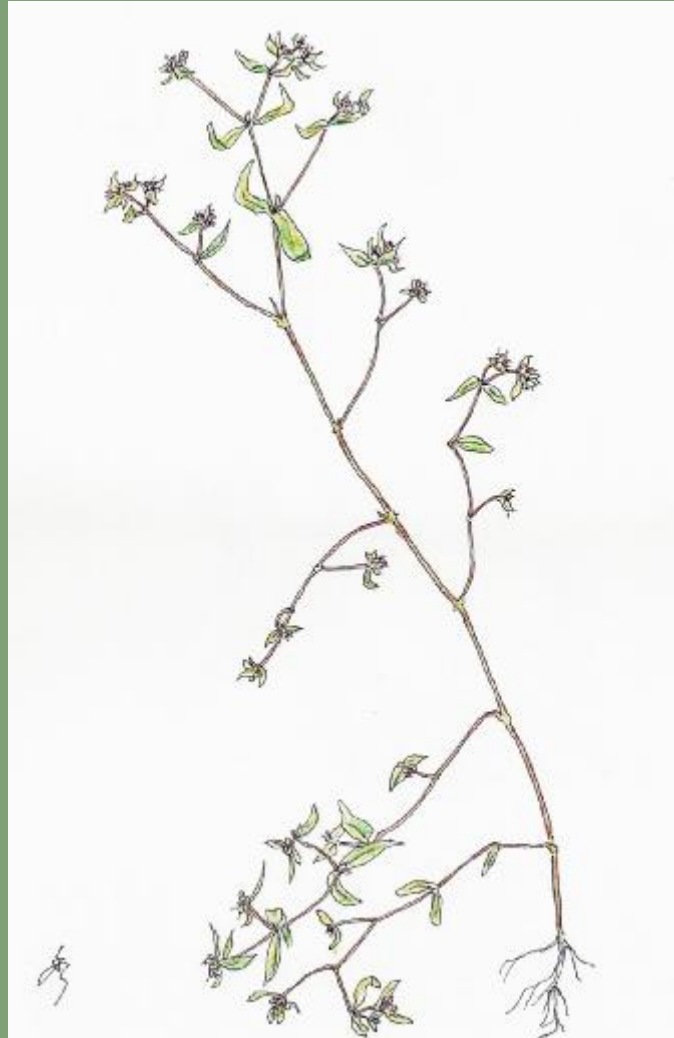


見沼田んぼ・野草スケッチ「ニシキソウ」

科名：トウダイグサ科 トウダイグサ属

花言葉：「控えめ」



2013. 10. 11 薄曇り 第一調整池

赤い茎をし丈の低い地に這うようにのびている植物を見つけました。採集して良くみると、面白いかっこの粒粒が付いていました。果実だろうか2～3ミリの大きさをした球形が3つの稜線がある形をしている。果実の脇にヘクソカズラのような小さな白い花がさいている。家に帰って調べてみよう。



「ニシキソウ」	
原産地：	世界に広く繁茂する
生育地：	1年草、多年草もある。道端、荒地、畑 在来種 本州、四国、九州、沖縄、朝鮮、中国、台湾、ロシア、モンゴル、西アジア
茎 丈：	地を這うように伸び、よく二叉分枝して地表を覆う。茎は赤く、長毛がまばらにある。10～25cm
葉：	葉は対生 長楕円形
花期：	7～10月
花・花色：	雌雄異花 花は杯状花序の形
種子：果実	果実は長さ約2mm、無毛、 種子が3個入る。種子は長さ約1mmで、しわがない。
特徴：	日本では本群に含まれるものとしては11種ほどがある。
名前の由来：	茎の赤と葉の緑を錦に例えている、また「二色草」が変化したから。
ニシキソウ属 - Wikiped、iaニシキソウ <i>Chamaesyce humifusa</i> トウダイグサ科 Euphorbiaceae ...、ニシキソウの画像のサイトより、18.2.5	